

### ワークショップ 3

#### 「聴覚障害者対応ワークショップ」

定員:40名

テーマ:地域を支える 人を支える薬剤師を目指して

講師:森川 美恵子(手話通訳士)

チューター:井上 貴博(愛媛県薬剤師会宇和島支部)

上田 千秋(愛媛県薬剤師会宇和島支部)

二宮 治代(愛媛県薬剤師会宇和島支部)

皆さん、耳が聞こえない方が薬局に来たらどうしますか？

耳が聞こえない方が困っていたらどうしますか？

「聴覚障害者」とは呼んで字のごとく、聴覚に障害がある(耳が不自由な)人のことです。では「聴覚障害」とはどんな障害でしょうか？

耳が聞こえないとはどんな事でしょうか？筆談で会話したらいいのでしょうか？それともジェスチャーで伝えたらいいのでしょうか？今回はそんなテーマの分科会を開催します。

みんなで一緒に考えて勉強しましょう！

愛媛県で第一号の手話通訳者であり、愛媛県手話通訳問題研究会会長、さらに国連でも手話通訳の経験がある**森川美恵子氏**を講師に招いてのワークショップです。

内容は ○聞こえないとは。

○聴覚障害の特性と心理

○模擬体験「聞こえない患者さんへの対応」「聞こえない患者さん体験」

○みなさんに(薬剤師)に期待すること

○そして今話題になっている「障害者差別解消法」について

勉強したいと思います。

アシスタントは以前から手話学習に取り組んでいる愛媛県薬剤師会宇和島支部の会員が務めます。宇和島支部では第35回日本薬剤師会学術大会松山大会から「聴覚障害者への服薬指導」についてのテーマで、聴覚障害者へのお薬相談会・手話通訳者に対する薬の勉強会・手話DVD作成(薬の使い方)等の取り組みについて研究発表をしてきました。松山大学でも在校生・卒業生を対象とした手話研修会を開催しました。また、聴覚障害を持ちながら薬剤師免許を取得した柴田昌彦氏も宇和島の薬局で働いていました。そういう経緯もあり、宇和島支部は手話サークル「はまゆうの会」・宇和島聴覚障害者協会と連携して「オレンジの会」を立ち上げ、現在も定期的に手話学習会を開催しています。このような活動が広がっていけば、ユニバーサルデザイン・バリアフリーの世界がこの業界でも広がると思います。まさしく今回のテーマであります「社会に応える薬剤師を目指して」です。

本ワークショップは、グループワークで研修するため人数に制限があります。是非、早めのお申し込みをお待ちしております。お土産は**手話**です。